

## 平成25年春の農作業安全確認運動の展開について

毎年、約400件の農作業死亡事故が発生し続けている現状を踏まえ、事故件数を減少に転じさせるため、事故が多発する春作業の3月～5月を農作業安全対策の重点期間として、関係団体・企業等と一体となって「春の農作業安全確認運動」を展開する。

25年の運動については、地域で中心的に農作業安全に取り組む人材を発掘し、その活動と連携して、事故の発生が多い高齢農業者への働きかけの強化等を行うなど、地域の効果的な農作業安全の取組が自主的・継続的に行われる仕組みの確立を図る。

### 1. 取組方針

安全確認運動が全国一体となって推進されるよう、重点推進テーマを設定し、運動の浸透・充実を図る。

#### ① 重点推進テーマ

「一人ひとりが主役 広げよう！安全確認」

#### ② 取組内容

##### ア. 農業現場での安全対策実践体制の構築

地域で中心的に農作業安全に取り組む人材を発掘するとともに、その活動と連携して、事故の発生が多い高齢農業者への働きかけの強化等を行うなど、地域の効果的な農作業安全の取組が自主的・継続的に行われる仕組みの確立を図る。

##### イ. 「+（プラス）安全」の取組

農業者が参加する多種多様な会議、集会、講習会、イベント等で安全の話題を追加（プラス）してもらうことにより、より多くの農業者に繰り返し農作業安全について意識してもらう機会を設ける。

##### ウ. 農作業安全ネットワークの活用

農作業安全に関わる幅広い関係者によるメーリングリストの拡充を図るとともに、地域の取組による成功事例等を全国へ発信し、情報交流を通じて各地域の取組の底上げを行う。

##### エ. 啓発資材による注意喚起

###### （ア）運動参加機関へ配付

- ・安全ステッカー
- ・農作業安全確認チェックシート
- ・ポスター（春の運動期間中にポスターデザインコンテストを開催し、秋の運動にあわせてポスターを作成・配付）

###### （イ）農林水産省ホームページへの掲載

- ・事故の詳細調査に基づいた対応策「今からすぐにやってみよう」
- ・地域全体で安全作業に取り組むための「地域活動マニュアル」
- ・万一の事故に備え、加入促進のための「労災保険特別加入制度のしおり」
- ・受講料無料の研修を実施（農林水産研修所）「農作業安全研修のご案内」

## 2. 展開方法

全国の行政機関、農機販売店、生産者団体など関係機関のご協力をいただき、安全ステッカー、農作業安全確認チェックシート等の共通の啓発資材を活用した一体的な取組を実施するとともに、各機関の特性を活かし、取組方針に沿った活動を各々展開する。

## 3. スケジュール

平成25年3月1日（金）～5月31日（金）（3ヶ月間）

## 4. 進め方

- ① 参加機関は、各々活動を展開するとともに、ネットワークを活用した情報発信、助言等により運動を強化。
- ② 期間終了後、事務局において各機関の取組内容や参加農家数等を把握。

## 5. 事務局

農林水産省生産局農産部技術普及課生産資材対策室（機械開発・安全指導班）

担当：今野、齋藤      電話：03-6744-2111